

## 社会学部報

- ◇昭和48年11月21日 学部研究会 発表者 藤原恵教授  
「転換期の新聞像——あるローカル紙の場合——」,  
牧正英教授「ミシガン州立大学のオンパズマンの役  
割について」
- ◇昭和49年1月23日 学部研究会 発表者 田中国夫教  
授「一年度生の成熟・態度傾向について——モゾウ紙  
法から——」, 西尾朗教授「グランドツアーと18世紀  
イギリス作家」

### 海外出張

- 丹羽春喜教授 昭和48年12月26日より昭和49年1月3日  
まで、台湾の高雄工業地区視察および工業化問題につ  
いてのセミナー出席のため台湾へ。
- 中野秀一郎助教授 昭和48年12月23日より昭和49年1月  
16日まで、東南アジア諸国における近代化エリートの  
役割に関する資料収集のためヴェトナム共和国、シン  
ガポールおよびタイへ。
- 小関藤一郎教授 昭和49年3月20日より4月2日まで  
Congrès International de Sociologie に出席、発表  
のためアルジェリアへ。

### 会員の新著

- 武田建教授 グループワークとカウンセリング 昭和48  
年10月、日本 YMCA 同盟出版部
- 丹羽春喜教授 福祉極大化と物価安定——所得政策への  
新しい接近——(共著)、昭和48年3月、日本生産性  
本部
- 安全保障をどうするか(共著)、昭和48年4月、時事  
問題研究所
- 民主連合政権(共著)、昭和48年5月、永田書房
- 現代経済体制論——経済の発展と体制の未来を探る  
——(共著)、昭和48年9月、有斐閣選書
- 国際経済教室——現代の貿易と経済問題を考える——  
(共著)、昭和48年10月、有斐閣選書
- 地域間貿易の将来と日本(共著)、昭和48年12月、至  
誠堂
- ソ連経済成長の計量モデル、昭和48年12月、アジア経  
済研究所
- 山中良知教授 キリストと文化(訳・著)、昭和49年2  
月、すじ書房

## 学会消息

### ◇日本社会学会

第46回日本社会学会大会は日本大学の開催で昭和48年  
10月13、14の両日、東京の国立教育会館で開催された。

本学から会員多数出席したが、萬成博教授は第一日の経  
営・経済部門の司会にあたった。今回の役員改選で小関  
藤一郎教授は理事に選出された。なお、今年はこの大会  
にひきつづいてアジア地域国際社会学会が10月16日から  
20日まで5日間にわたって東京の赤坂プリンス・ホテル  
で開催されたが、これは日本で開かれた最初の国際社会  
学会であるが、アジア諸国から代表を派遣したのは、イ  
ラン、インド、インドネシア、マレーシア、タイ、韓国  
およびカナダの諸国で、テーマは「アジアにおける社会  
学と社会発展」であった。

### ◇村落社会研究会

昨年度は、村落社会研究会の創立20周年を記念すべき  
第20回大会であり、千葉県鴨川市の国民宿舎「望洋荘」  
で開かれた。その記念事業として「研究通信・創刊号～  
第50号」までを複製して一冊にまとめ刊行された。この  
年の共同課題は「日本社会における村落と都市」であっ  
た。その発表は、塙書房刊「村落社会研究第九集」(346  
頁・3,200円)をご覧願いたい。

今年の第21回大会は、昨年の連続として「現段階にお  
ける都市と農村の対立の諸形態」を共同課題として、10  
月30、31日の両日三重県合歡の郷のホステルで愛知大学  
のお世話になって開かれた。本学よりは大学院の諸君が  
多数参加した。二日間に、自由報告4、課題報告4、あ  
と三時間余の共同討議が行なわれた。

来年度は東北大学が会場のお世話をして下さることにな  
った。今年度大会の成果は「村落社会研究第十集」に  
発表される予定である。なお村落社会調査研究叢書第三  
輯として、黒崎八洲次良会員の「近代農業村落の成立と  
展開——北海道留寿都村の農家経営を中心として——」  
が塙書房より出版された。なお今年度の事務局は中央大  
学文学部社会学研究室である。 —余田記—

### ◇理論・計量経済学会

理論・計量経済学会1973年度大会は、10月20、21日の  
両日、慶応義塾大学三田校舎にて開催された。本学部か  
らは、青山秀夫教授、丹羽春喜教授、中山慶一郎助教授  
が参加し、次のような研究発表を行なった。

丹羽春喜教授「物量バランスの着想による構造的物価  
安定計画の試算」

### ◇日本時事英語学会

9月8日 京都外国語大学で関西支部大会が開催さ  
れ、西尾教授が出席、司会を担当。

10月13、14日 関西外国語大学で年次大会が開催さ  
れ、西尾教授が出席、開会式の司会を担当。

12月8日 慶応大学三田校舎で理事会が開催され、西  
尾教授が出席。

12月22日 関西支部役員会で西尾教授が支部長に再選

された。

#### ◇日本社会福祉学会

日本社会福祉学会第21回大会は、1973年10月20、21日の両日にわたって、上智大学において開催された。

本年は、学会創立20周年にあたるので、共通課題を「社会福祉研究の回顧と展望」として、主としてわが国の第二次大戦後の社会福祉研究の発展と、こんごの展望における問題点についての報告が多かった。

第一日は、午前中は共通課題についての報告、午後はシンポジウム「社会福祉政策と方法——国民の福祉要求にこたえて——」にあてられた。本年度は、老人問題についての政策と方法に焦点をしばって討論された。

第二日は、自由論題報告にあてられ、48人の報告があった。

#### ◇日本新聞学会

1973年度秋季研究発表会は去る11月10日、東海大学において行われた。個人発表の他、「危機意識とジャーナ

リズム」というテーマでシンポジウムが開かれ活発な討論が行われ、本学部から津金沢助教授が出席した。

#### 編集後記

社会学部紀要は昭和35年発行以来、順調に刊行をつづけ、この第28号で14年を経過することになった。会員各位のたえまない精進と絶大なご努力とご協力によって、紀要が学会において確固とした地歩を樹立してき、各方面から評価されてきていることは学部一同の非常な喜びであり、また誇りといってよいであろう。

こうして順調に発展をつづけてきたが、困った事態が最近生じてきた。それはいうまでもなく、最近の物価の著しい騰貴、就も用紙事情の逼迫とそれに伴う高騰である。こうした事情のため、これからの紀要誌の刊行の将来は非常に難しい状況においこまれてきた。またこれからの見透しも中々立てにくい状態であることをご報告する次第である。